

木造家屋建築工事における崩壊・倒壊災害の死傷災害発生事例（2017年）

| 2017年発生月 | 時間 | 死傷災害発生事例 | 年齢 | 労働者規模 |
|----------|-------|---|----|-------|
| 1 | 17~18 | 戸建て住宅にて部材の差し上げ作業中に、元々背後に立てかけてあった部材が何かのはずみで倒れてきてぶつかり、転倒した。 | 38 | — |
| 2 | 17~18 | 自社、作業場にて材料（木材）（120×120×3000）を横積み中、5段目（高さ約1.5m）から、材料が崩れ落ちてきて、右足を負傷した。 | 60 | 1~9 |
| 2 | 15~16 | 工事現場にて壁に立て掛けてある石膏ボード（22枚）ベニヤ板（4枚）より、ベニヤ板（壁側裏）を取り出すべく、共同作業（同僚大工）で石膏ボード（14枚）を立て起こし支えていた際ボードのバランスが崩れ倒れて下敷きになり頭部をボードと上がり框間に挟まれ死亡した。石膏ボード（1枚当たり）91cm×182cm、t=12.5mm ベニヤ板（1枚当たり）91cm×182cm、t=5.5~9.0mm | 49 | 1~9 |
| 2 | 14~15 | ラックに立て掛けてあるDX用の窓パネルを取り出して運ぼうとしたところ、倒れてきた窓パネル6枚に接触して負傷した。 | 20 | — |
| 3 | 11~12 | 自社作業場にて、作業場内の土をダンプで下ろしてアオリの調子が悪く調整していたところ、急にアオリが開いてしまいダンプ1杯分の土が急激に落下し、体に直撃し右胸を負傷した。 | 49 | 10~29 |
| 3 | 14~15 | 解体現場庭にて庭木を伐採中、切った樹木が自分の方へ倒れてきて右肩にぶつかり、右鎖骨・右肋骨（3本）骨折、右肩甲骨ヒビ、頸椎捻挫の怪我を負った。 | 36 | 1~9 |
| 4 | 10~11 | 改築工事現場でブロック解体作業中、誤って倒壊したブロック（約300kg）の下敷きになり、腹部、腰部等（上半身）を負傷した。 | 48 | 1~ |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|---------|
| | | | | 9 |
| 4 | 13～ 14 | 木造家屋解体工事現場にて、小型バックホウで柱を引っ張った際に、倒れた柱の端部とレバーとの間に左手が挟まれた。 | 73 | 1～ 9 |
| 5 | 15～ 16 | 工場1階でアルミ表面処理ラインのロードストック架台を組立中に、鉄製部材（150D×4,150W×2,440H、約350kg）をフォークリフトで起こし、立てた状態で被災者が支えていたが、鉄製部材が傾き倒れ始め、それを支えようとしたが支えきれず、鉄製部材と床面との間に顔面から胸部にかけて挟まれた。 | 30 | 1～ 9 |
| 6 | 9～ 10 | 個人宅外構工事現場で、老朽化したコンクリート塀の撤去作業中、コンクリート塀の鉄筋を切断したところ、塀が倒れてきて、避けきれずに足腰腕等を負傷したものである。 | 48 | 1～ 9 |
| 7 | 13～14 | CB塀W=3,600×H=1,400をエンジンカッターで下段1段残すよう切断してバックホウで倒し撤去する段取りのため、バックホウの準備ができるまでの間にエンジンカッターでW=1,800（半分）まで切断するところを全て切断してしまい、塀が倒壊し被災者は下敷きとなり負傷した。 | 49 | 1～ 9 |
| 7 | 13～ 14 | 増改築工事のために、内部床・天井・壁等の解体撤去作業中、作業終了時に2階床梁の足場板（400×3.5×20cm、ベニヤ板）の固定ビスを外して1階に下ろす作業をしていたとき、足場板に乗り、別の足場板を取ろうとしたときに、乗っていた足場板が梁から外れ、1階土間に落下し（約3m高）、左肩・首等を打撲負傷した。 | 66 | 1～ 9 |
| 9 | 9～ 10 | 新築工事で材料搬入作業中に、搬入済間柱を整理していたところ、積み上げた間柱が崩れ落ち、右膝を負傷した。 | 29 | 1～ 9 |
| 10 | 11～ 12 | 新築家屋前の路上で、塀用のブロックを移動している時に、別のパレットに積んであったブロックが、積み方が不安定であったため倒れてきて、左足親指を負傷した。 | 23 | 1～ 9 |
| 11 | 15～ 16 | 元請事業主の倉庫内で部材の片付作業をしていた際、部材（柱）を立て掛けようとしたところ、先に立て掛けていた柱が倒れて来て、右手を挟み親指を裂傷した。 | 21 | 1～ |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|---------------|
| | | | | 9 |
| 11 | 11~ 12 | 建物解体中最後に残った1、2階浴槽ブロックの解体中、1階部分ブロック斫り中2階の重量で転倒する。その時右足が挟まった模様である。 | | 63 ~ 9 |
| 12 | 14~15 | 木造家屋の人力解体中に、右側を縁切りしたモルタル付の壁を親綱で2箇所固定し、手前に引っ張って倒す作業を行おうと、周囲の安全確認や、全員で声を掛け合って退避行動を促していたが、壁を倒した際に被災者の退避が間に合わず、右足の太腿にぶつかり、その衝撃で尻餅をつき、壁が重力に従い手前に迫った結果、足首が床との間で圧迫された形となった。 | 50 | 10 ~ 29 |
| 12 | 9~10 | 新築工事現場において、2tトラック荷台側面より耐水石膏ボード（900×1,800）を降ろし、運ぼうとして進行方向へ向いたところ、一緒に並んでいた耐水石膏ボードが足元に滑り落ち、右足膝下部分に当たり、骨折負傷をした。 | 65 | 10 ~ 29 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html